

ふれあい

一関市室根市民センターだより

2024 謹賀新年



地域の皆様あけましておめでとうございます。よき新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年、新型コロナウイルスも五類に移行され、当センターの利用も数年前に戻りつつあり、また感染拡大の恐れがあり中止していた各種事業についても、計画どおり実施し更に新規事業にも取り組む等、多くの事業を実施いたしました。

事業実施にあたりましては、地域の皆様方のご支援ご協力を賜り、お陰様で実施の運びとなりましたこと改めて感謝申し上げます。

職員一同、今年も頑張ってお参る所存でございますが、昨年以上各種事業を通じ、皆さんとお会いできる機会が増えると思っております。その時は気がねなく私どもに声をかけていただくとともに、変わらぬご支援、ご協力を賜るようよろしくお願いいたします。

最後に、皆様にとってこの一年が良い年となりますようにご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



室根市民センター所長
金森 勝利

新年のご挨拶

室根市民センターでは12月17日(日)「正月飾り寄せ植え教室」を開催しました。

「むろね山野草の会(村上義一会長)」の皆さんが講師となり、縁起のいい花などを同じ植木鉢に植え込み、お正月らしい寄せ植えを制作しました。

寄せ植えの華やかな出来栄に、参加した皆さんは嬉しそうなお様子でした。

お正月を飾る 寄せ植え教室

室根市民センター
正面玄関には、今年も「むろね山野草の会(村上義一会長)」有志で構成された「樹楽会きらくかい」(佐藤智会長)の皆さんが制作した門松が12月26日(火)から飾られています。

竹の周りに松や葉牡丹、南天など縁起の良い植物を植え込んだ門松で、市民センターはお正月らしい華やかでおめでたい雰囲気です。

【室根市民センター】初春を祝う 門松飾り



(室根市民センターだより)

【成人教育】 詩吟に親しむ 体験教室 開催

11月21日(火)室根市民センターでは成人教育「詩吟体験教室」の第1回目を開催しました。

講師の小山耕一さん(大東町)より、詩吟をする際の口の動かし方や独特な発声の仕方など基礎のところから丁寧に教えていただき、室根出身の俳人「相沢暁村」の人物像についての解説などもあり、詩吟だけでなく地域の偉人についても学ぶことができました。参加した皆さんは、講師のお手本を参考に真剣な様子で取り組んでいました。



【文化史講座】 古文書で知る 室根の「むかし」

12月5日(火)室根市民センターでは室根町史談会と共催で文化史講座「室根地域の古文書を読んでみよう」の第1回目を開催しました。

室根地域外からの参加もあり、室根町史談会千葉栄一会長の皆さんが先導して、題材の「牟婁峯山大権現社傳 折壁本郷開闢記」について読み解いていきました。

古文書の解釈については参加した皆さんで互いに意見を交わし、質問が出た際も史談会を中心に参加者同士で解釈を述べ合いながら読み進めていきました。和気あいあいとした雰囲気の中、古文書に残る、昔の室根の様子について理解を深めはじめた第1回目となりました。



行事予定 ※26日～翌月25日までの予定を掲載しています
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定の行事が変更・中止となることがございます。

月日	行事内容	場所	時間
12月 27(水)	子ども土曜塾「書道教室」	室根市民センター	14:00~16:00
29日(金)~3日(水)	年末年始 休館		
1月 6(土)	室根地域新年交賀会	佐福会館	16:00~18:00
10(水)	子ども土曜塾「小正月行事」	室根市民センター	10:00~12:30
15(月)	健康増進グループ 百歳体操	室根市民センター	10:00~12:00
17(水)	成人教育「男の料理教室」①	室根保健センター	10:00~12:30
22(月)	健康増進グループ 百歳体操	室根市民センター	10:00~12:00
23(火)	文化史講座「室根地域の古文書を読んでみよう」②	室根市民センター	13:00~15:00

【編集後記】

新年あけましておめでとうございます！
2024年は甲辰(きのえたつ)。「甲」は草木の成長を意味し、植物が成長するようにどんどん勢いを増していく様子を表しているそう。そのため2024年辰年は、「昨年まで努力してきたことが実を結んで成就する年、また、努力を重ねることで成功までのスピード感が増す年」になるのだそうです。

室根神社特別大祭など、何かと忙しいながらも楽しみな年になりそうですね。皆さんの一年が昇り調子の良い年となりますように！今年もよろしく願いいたします。(職員一同)

編集/発行：一関市室根市民センター
〒029-1201
岩手県一関市室根町折壁字大里 201-1
TEL. 0191-64-2347/FAX. 0191-64-3044
E-mail: mmachikyo-kt@tiara.ocn.ne.jp

【釘子・津谷川高齢者学級】 移動研修

釘子地区高齢者学級では、11月14日(火)「増田の内蔵と歴史を知ろう」をテーマに秋田県横手市増田町で移動研修を行いました。
増田町には現在も、当時の繁栄を今に伝える伝統的な町並みや内蔵が多く残っており、国の重要な伝統的建造物群保存地区に選定されています。内部に床の間を配した座敷間を有する「座敷蔵」内部をガイドの説明を聞きながら見学し、その後、「横手市かまくら館」で450年続かまくらの意味や歴史についても学びました。



津谷川地区高齢者学級では、11月16日(木)「湯田ダム」の仕組みと歴史を知ろう」をテーマに西和賀町で移動研修を行いました。「きんしゅうこものしり館」にて職員の方から、湯田ダムについて説明を聞き、湯田ダムの建設のあゆみ、錦秋湖周辺や流域の自然、文化について学んだあと、実際にダムを歩いて見学しました。
どちらの移動研修でも、初めての参加者が多く、久しぶりの集まりを楽しみながら、学びの時間を過ごしていました。

【4区・8区・14区・中津谷川】

女性学級 体験で楽しく学ぶ

4区女性学級では、11月23日(木)「秋の寄せ植え教室」を開催し、寒さに強い植物を使って、秋々冬に長く楽しめる寄せ植えの作り方を学びました。
参加した皆さんは、好きな草花を組み合わせ、季節の寄せ植え作りを楽しんでいました。
8区女性学級では、11月18日(土)4年ぶりに「料理教室」を開催しました。「免疫力アップのおいしい料理」をテーマに、「豚肉と厚揚げの豆乳鍋風」「柿なます」「牛乳ごまもち」の3品を作り、みんなでおいしく味わいました。
体に優しい栄養満点のお料理と、食後の楽しい交流で大満足の料理教室となりました。



14区女性学級では、11月19日(日)「茶道教室」を開催しました。
同地区の桜田妙子さんが講師を務め、茶道の作法や基本など丁寧に教えていただきました。
おいしいお茶をいただきながら、裏千家・表千家の違いや薄茶・濃茶で作法が違うことなどの知識も楽しく学びことができました。
中津谷川女性学級では12月3日(日)「手芸教室」を開催し、同地区の佐藤悦子さんを講師に、リース型に切った段ボールを土台に余り布を差し込んで作るリース作りを教わりました。
参加した皆さんは、それぞれ色合いなど趣向を凝らし、クリスマスやお正月にもぴったりな華やかで可愛いリースを完成させていました。



文芸(短歌・俳句・川柳)

10月26日～11月25日 投句

川柳 く内田 正好 選

サロン会談笑のあり若さあり
九十路に百を越せたい夢もあり
津谷川 三浦 安幸
ほろほろとどこかなつかしはつか糖
父が拾い母とより分け祖母剥く栗
ネコ不在居ればやかまし居なけりやとぜん
津谷川 佐藤 可奈

我思う共存共栄何よりと
珈琲と煙草二本の俺の朝
アイヌ語が減びないよう守ろうよ
矢越 加藤 光春

新品のタイヤ交換冬支度
煌びやか今年も始まるイルミネーション
折壁 昭和 小葉

自分のつばでせき込む老いの日々
人はいう歩く姿は老人よ
矢越 尾山 与太郎

《選者詠》
どうしても懂れますよ翔笑顔

短歌

く佐藤 知男 選

若き日の苦労話をする母の
同じ話を我慢して聴く
コンバイン刈り残したのを鎌で刈り
昔の人の苦労を偲ぶ
矢越 加藤 光春
それぞれに生き様違えど亡き父母の
思い出多き昭和遠くに
曼珠沙華色褪せ萎えし日暮れ時
終り寂しき花と思ひぬ
津谷川 三浦 安幸
夕暮れの黄金の幕に包まれて
あれこれ想うあやしかりけれ
折壁 雷 風

紅葉の山路巡りて頂に
季節の風がからむ足元
晩秋の日向の雑草花をもち
逝く季を惜しみ咲き誇りおり
矢越 小山 富子

《選者詠》
いかにして霜降る夜を耐へたるや
あきつ群れ飛ぶ小春日の空
真白なる新雪踏めば罪のごと
我と犬との黒き足跡

俳句

く村上 群青 選

天高く目に染みるよな蒼き風
草野球スポーツの秋満喫す
矢越 加藤 光春
日暮はや家路恋しやデイ帰り
秋野原色紙に咲かせ秋桜
折壁 小山 すす
そぞろ寒寂寥さがす広辞苑
お土産の秋刀魚のお礼声高に
折壁 佐藤 川古
明けの春初日差しには福の神
初日の出日本丸には笑顔乗せ
折壁 小山 一扇
音もなく公孫樹散りゆく家路かな
今更に猛暑懐かし時雨かな
折壁 雷 風
この年も日進月歩十二月
山路来て音立て過ぎる俄雨
津谷川 三浦 安幸

《選者詠》
神霊の樺大樹や冬籠

「ふれあい」文芸コーナーでは、投稿作品を募集しています。毎月25日が締切りとなっておりますので、郵送もしくは室根市民センターへ直接お持ちください。
選者による添削ののち、選ばれた句が翌号に掲載となります。【例：1/25 締切分→3/1 発行号掲載】
皆さんの投稿をお待ちしております！